

Progress Report

平成 28 年 9 月 30 日
株式会社 長 大 (文責)

現 地 で 実 証 試 験 の 開 始 ！ ！

バイオトイレ「Bio-Lux」と新浄化装置「Bio-Lux Water」の有効性を実証すると共に、普及展開に向けた活動を実施

正和電工株式会社（以下「正和電工」）は、事業対象地域であるクアンニン省のハロン市やヴァンドン島で 2014 年度補正予算中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～の活動の一環として実証試験を開始しました。

正和電工は、クアンニン省の Cai Lan 港に向けバイオトイレ Bio-Lux (20 台)、新浄化装置 Bio-Lux Water (11 台) を 2016 年 2 月より海上輸送を開始し、その後世界自然遺産ハロン湾を周遊する観光船、船着場、ハロン市の小学校、ヴァンドン島の一般家庭等に対し、実証試験を実施するための設置工事を 2016 年 3 月～8 月の間実施しました。設置工事完了後の 2016 年 9 月より実証試験を開始し、バイオトイレや新浄化装置の有用性及び優位性について現地研究機関らと協働しながら確認・分析を行います。本実証活動は、①観光船、船着場および小学校へバイオトイレを導入し、また一般家庭を含むコミュニティに対してはバイオトイレと新浄化装置を用いた分散型排水処理システムを導入することで、製品・システムの性能の評価、公共用水域に流入する生活排水の汚濁負荷削減、現地に適用できる製品仕様の検討をできることの確認、②バイオトイレから発生する残渣が有機堆肥として有効であることを確認し、資源循環型社会実現のために農家が化学肥料の代わりに有機堆肥を積極的に活用する可能性の検討、の大きく 2 つの活動を実施します。

また、同時にクアンニン省において分散型排水処理システムを持続的に活用できるようバイオトイレや新浄化装置を設置した小学校や一般家庭を含めたコミュニティに対して環境教育や公衆衛生意識の向上に向けたプロモーション活動を実施します。

本実証試験を通じて、ハロン湾水域において、バイオトイレ及び分散型排水処理システムの持続的な利活用に向けた体制の整備や分散型排水処理システムの普及展開計画などを策定していく予定です。



バイオトイレ・新浄化措置の導入・設置の様子